

令和2年度第2回茨城県立病院運営評価委員会の開催結果

日時：令和3年2月2日（火） 17：30～19：00

場所：茨城県庁9階901会議室

【出席委員】

城西大学教授	伊関 友伸 氏
公認会計士	清水 至 氏
茨城県医師会長	鈴木 邦彦 氏（委員長）
群馬県立小児医療センター院長	外松 学 氏
茨城県精神科病院協会会長	高沢 彰 氏
筑波大学附属病院院長	原 晃 氏
日製日立総合病院院長	渡辺 泰徳 氏

【議事内容・意見等】

○議事内容

- ・令和2年度第1回茨城県立病院運営評価委員会の開催結果
- ・茨城県病院事業中期計画（平成30～令和5年度）の進捗状況
- ・令和3年度の各病院の主な取組
- ・茨城県病院事業中期計画の見直し

○主な意見

- ・新型コロナウイルス感染症の対応について、中央病院は公立病院として重点的に対応するための機能をもっと前面に出す必要がある。その一方で、がんの拠点病院としての機能を両立してよいのか、救急も今までどおり受けて問題ないのか、という議論が必要。
- ・今後の地域医療構想調整会議においては、必ず感染症についての議論がされると思うので、感染症対策の視点も含めた病院の在り方等を検討しておく必要がある。
- ・病院の再編統合については、20年後、30年後、50年後を考えて、次のステップを踏み出す状況になってきたと感じている。「感染症」をキーワードにして、今まで進んでいなかった再編統合を進める視点もあっていいのかなと思う。
- ・繰入金については、民間病院では出来ないことをやれば理解が得られると思う。また経営改善については、改善状況を分かりやすく見える化して示していただきたい。